

令和5年度きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会 【高等学校・特別支援学校の部】 まとめ

日 時：令和5年6月28日（水）13:30～15:30

実施形態：オンライン 参加者：58名

テーマ：「生徒の成長につながるコミュニティ・スクール」

講演「学校運営協議会を活かした高等学校の特色づくり」

文部科学省CSマイスター・岡山県青少年教育センター閑谷学校所長 香山 真一 氏

9

1. 生徒の「生きる力」を伸ばすには

○生きる力（学習指導要領より）

- ・学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養
- ・生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

○「社会に開かれた教育課程」により実現

- ・社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むこと。
- ・各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

2. 「コミュニティ・スクール」で何を変えるか

○地域と学校の連携・協働の必要性

- ・地域の魅力的な大人たちに当事者として教育の魅力化に関わってもらえるようになり、教育の質や環境を改善し、生徒を一層成長させられる。
- ・地域の多様な主体が当事者として連携協働することを通し、学校の魅力化が地域の魅力化につながる持続可能な仕組みができる。

○学校と地域をとりまく課題解決のための仕組み（プラットフォーム）

- ・学校や地域が抱える様々な課題を地域全体で解決していく

3. コミュニティ・スクールをどう発展させるか

○学校運営協議会

- ・委員の選定
- ・熟議したくなるような課題設定
- ・学校と地域が共同して取り組む目標設定
- ・教育課程と地域のつながりをチェックするカリキュラム・マネジメント

○コミュニティ・スクールの改善に向けた5つの観点

- ・主権者教育という観点
- ・DEI、SDGsという観点
- ・キャリア教育という観点
- ・まちづくりという観点
- ・働き方改革という観点

令和5年度きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会 【高等学校・特別支援学校の部】 まとめ

日 時：令和5年6月28日（水）13:30～15:30

実施形態：オンライン 参加者：58名

テーマ：「生徒の成長につながるコミュニティ・スクール」

発表者：和歌山県立南部高等学校 教頭 橋本 和旭

①課題

- ・管理職から学校の取組の内容を報告して意見をもらう会になっていた。
- ・自分事として活動できていない。

②南高版コミュニティ・スクールの体制

CSマイスターの増淵の助言を基に組織している。

- ・域学連携部会（5名）
学校周辺の防災対策における連携
生徒たちが自己の価値を見出す取組
- ・プロモーション部会（5名）
新たな目線で学校の魅力の発掘と効果的な方法で、生徒確保につなげる。
実践例：菅本香菜ちゃんおむすび in みなべ町の開催
- ・評価部会（4名）
学校評価の見直し

③令和5年度委員

- ・10名中6名が新メンバー
- ・任期を一年に設定し、目標設定に応じたメンバーを選任。

④島田由香様（学校運営協議会委員へのインタビュー）

- ・外部の視点からプロモーション部会を盛り上げていきたい

⑤まとめ

- ・南高版きのくにコミュニティスクールは教育目標にコミットする活動です。

発表者：和歌山県立紀北支援学校 校長 柏木 美紀

①課題

- ・これまでの地域と協働・連携した取組を継承しつつ、さらなる飛躍を目指すこと
- ・児童生徒一人一人を尊重した授業づくり及び実践力の向上 等

②今年度の体制と取組

【今年度のテーマ】 社会の一員として自立を目指す～「生きる力」とは～

【ビジョン】

- ◎高等部作業学習の本物づくりを基盤とし授業を通して将来の「生きる力」へつなげる
- ◎人権的要素を取り入れた授業づくりを目指す
- ◎実践を積み、自信の持てる児童、生徒を育てる

【ビジョンの具体化】

学校課題に係る意見交換及び具体的取組について協議し、取組の着眼点を確認

- ✓県内特別支援学校との連携を強化し、コラボ商品づくり及び作業製品の全国に向けた発信
- ✓人権の視点や職業自立、社会参加を見据えた指導の視点での授業づくりを深める
→教員の企画提案・情報周知の役割分担を再構築し、学校の組織的な取組を推進

③令和5年度委員

- ・高等学校との連携を視野に、新たに近隣高等学校長を委員に選出

④まとめ ～新しい紀北に生まれ変わるための新たな挑戦～

- ・地域や他府県への作業製品の発信の手立てを
- ・学校運営協議会委員と児童生徒との座談会の充実
- ・授業で学んだことを児童生徒が校外で実践することを通して、自信につなげる

令和5年度きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会

(高等学校・特別支援学校の部) アンケート結果

1. あなたの所属について、当てはまるものを選んでください。

● 高等学校	31
● 特別支援学校	5
● その他	0



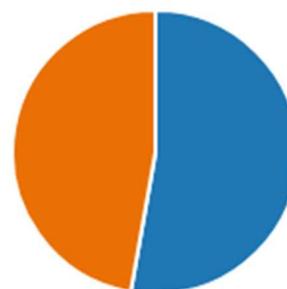
2. あなたの役職、担当等について、当てはまるものを選んでください。

● 校長	7
● 教頭	27
● 地域連携担当職員	1
● きのくにコミュニティスクール担当職員	0
● その他	1



3. 学校運営協議会制度について理解できた。

● 大いにそう思う	19
● おおむねそう思う	17
● あまり思わない	0
● 思わない	0



4. コミュニティ・スクールを充実させるための重要なポイントが理解できた。

● 大いにそう思う	14
● おおむねそう思う	22
● あまり思わない	0
● 思わない	0



5. 講演を聞いて、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一層推進していこうと思う。

● 大いにそう思う	19
● おおむねそう思う	17
● あまり思わない	0
● 思わない	0



【ご意見】

① 事例発表について

- ・南部高校の発表が良かったです。リーダーのパッションが学校改革の原動力になることを再認識させられました。
- ・具体的な活動を見ることが出来て、大変有意義でした。
- ・委員の呼び名について、事例発表で報告されていましたが、どうでしょうか。「呼称」は、大切だと思います。
- ・南部高校が気軽に発言できる雰囲気を作っていることに感心しました。
- ・本校でも南部高校のような考え方を取り入れられないか検討したいです。
- ・大変充実した取組の状況を伺うことができ、本校の活動においても活かしていければと思います。
- ・前例踏襲のような会で終わらないよう工夫していこうと思いました。
- ・南部高校の事例では生徒はもちろん、CS のメンバーが楽しんで支援している感じが伝わってきます。課題はあるとは思いますが、CS の方々の力で何でもできそうだと感じました。
- ・今、取り組み始めていることが間違っていなかった事が確認できました。自信を持って取り組んでいけます。
- ・南部高校の各部会での活動について、今後の進捗状況等を報告してもらいたい機会を持っていただきたい。
- ・小規模校での委員の選任が難しいが、テーマをしっかり決めて人選していきたいです。
- ・資料がわかりやすかったです。
- ・学校長が進める学校運営をコミュニティ・スクールにいかにつなぐののかという苦労が伺えました。
- ・委員の選定が大切であることが理解できました。
- ・各校の地域性や実態を踏まえながらの実践を知ることができて大変有意義でした。
- ・報告会、意見を述べる会になっていて「自分事としての活動ができていない」が現状です。2校の発表を参考に取り組みしていきたいと思います。

- ・南部高校の事例では、具体的なテーマを設定し、その実現に必要な委員の選定や部会の設置、目標の達成状況の評価などを取り入れている点が参考になりました。学校の目標を実現するためにCSを機能させようとする意志が感じられました。
- ・流さずに、組織を活用し各校の教育目標を推進していくための仕掛けづくりや管理職としての視点、組織運営について具体的なお話を頂きました。カリマネ等新たな課題についても気づくことができました。
- ・開かれた教育課程の実現にはコミュニティ・スクールの充実が必要不可欠であると考えています。貴重な事例を教えて頂き大変参考になりました。
- ・学校とは、関係的に距離のある方を委員にしているところ、そして、その方が大きく機能しているところを参考にしていきたいです。
- ・他校の実践事例を伺うことは、自校の活動の参考にさせていただけるので、非常にありがたいです。
- ・南部高校については、令和2年度からなんとか改善できないかを考えていて、いい形になっているので良かったと思います。本校も取組を頑張ります。
- ・「スピード感を持って取り組む」「部会の設置」など特色ある取組が聞け、とても参考になりました。今後の活動の活性化に参考にさせていただきます。
- ・委員選定の工夫や目標に合わせた部会制の導入など、今後の参考となりました。ビジョンをしっかりと設定し、課題解決に向けCSや地域が上手く結びつけられていました。
- ・「学校目標にコミット」という言葉が印象に残りました。学校目標を具現化するために、協議会をどのように活用していくか、より明確化することと、管理職等の一部の教員だけではなく、教職員とどうつないでいくかという視点をより考えていきたいです。
- ・何事も明確な目的意識と周到なプランニングが必要だと再確認することができました。

② 講演について

- ・和歌山が先進県であると評価いただいておりますが、現実のところはどうなのでしょう。
- ・今までの流れを理解することが出来たのが、大変有意義でした。
- ・参考になることが多く、これからの取り組みに活かしていきたいと思います。
- ・たくさんの事例があり、今後の参考となりました。
- ・ポイントがよくわかりました。
- ・非常に整理され、わかりやすい説明をありがとうございました。
- ・前回に続き、大変勉強になりました。観点別にどのように改善を図っていけばよいのかを教えていただくことができ、ありがたかったです。
- ・多くの事例を紹介していただき、参考になりました。ありがとうございました。
- ・本日2回目となる講演を聞かせて頂き、本当によくわかりました。

- ・①地域、②学校（生徒も含む）、③行政がタックを組む必要があると感じました。
- ・様々な事例を紹介いただき、参考にすることができました。
- ・生徒が成長した、気づいたことを感じられる活動にしたいと思いました。
- ・2度目の拝聴となりました。今後の取組に活かしてまいります。
- ・資料がわかりやすかったです。
- ・新学習指導要領になり、授業の中で地域との交流が重要視されるようになったことでコミュニティ・スクールの重要性も高くなったと思います。
- ・コミュニティ・スクールで様々なことができる事を気づかされました。
- ・2の「コミュニティ・スクール」で何を変えるか？の実例から、本校の活動内容を考える際のヒントをいただきました。アイデアがいくつか浮かんできました。
- ・委員に当事者意識をもってもらう工夫が必要だと強く感じました。目標設定をした上で、その実現に最適な委員の選定をしていきたいと思っています。
- ・事例も交えながら、CS の概念・概要を説明していただき整理することができました。
- ・各校に配布されているリーフレット以上のことについて知る機会はありませんでしたので、大変勉強になりました。
- ・地域と学校が一体となり、生徒を成長させていき、地域の課題を発見・解決する探究学習等非常に参考になりました。
- ・コミュニティ・スクールのあり方について改めて考えることができました。
- ・委員と一部の教員で熟議をしていくのではなく、多くの教員、生徒を含めて学校全体で熟議していくことを再確認しました。
- ・コミュニティ・スクールの根幹について、改めて理解を深めることが出来ました。
- ・本校と照らし合わせて、いい取組が出来ないかと考えながら受講していました。
- ・「生きる力を伸ばす」「成長につなげる」主語は、「生徒」のために、コミスクをいかに活用するかが鍵となることを学びました。
- ・今後は概要ではなく、テーマを絞った講演が聞きたいです。
- ・子供たちのためにスクール・ポリシーを定め、その子供たちが主役となりSPを実現させる方向性は特に印象に残りました。生徒の参画をどう進めていくかが今後の検討課題です。
- ・今回、委員の選定の大切さをあらためて、確認できました。
- ・CSと学力、カリキュラムマネジメントとの関係について明確になり、大いに参考となりました。
- ・コミュニティ・スクールの意図するところや県外の状況について、理解を深めることができました。
- ・事例発表も踏まえながら、コミュニティ・スクールの要点を講演いただき大変

分かりやすかったです。

③ 全体を通して

- ・研修会の機会を設けていただきありがとうございました。
- ・運営者様、このような機会をつくっていただきありがとうございました。
- ・運営協議会の委員だけでなく、地域と繋がるのが大事なのだと、あらためて認識することが出来ました。この視点で本校として何が出来るのか、あらためて考えていきたいです。
- ・和歌山県の取組が全国でもトップクラスであることを知り感心しました。
- ・学校によって違いはありますが、CSをもっと活用させてもらおうと良いのかと思います
- ・即効性のあるものと、時間のかかるものがあると考えています。分けて考える必要があります。
- ・校務時間確保、働き方改革の観点からビデオ研修の形態が良いと思います。
- ・学校全体で取り組む姿勢が必要だと感じました。
- ・新学習指導要領になり必修教科科目の自由度が大きくなりましたが、キャリア教育をもっと進めるには、より柔軟に教科のカイキュラムを自由にさせることがよいのではないのでしょうか。実務重視になりがちですが、現実の社会で生きていく上で必要なことと学校で学ぶカリキュラムの明確な関係性がはっきりすればよいと思います。
- ・貴重な事例発表、講演をありがとうございました。この研修会でコミュニティ・スクールを何とか自分のものにしたいと考えています。
- ・今後、学校運営協議会を運営するにあたり、キャリア教育という観点とまちづくりという観点を特に大切にしたいと感じました。児童生徒たちにつけたい力、目指す児童生徒像等も整理しながら、持続可能な地域を支えるために必要となる力の育成に目を向けていくことが大切ではないかと考えました。
- ・教育目標の実現にCSを活用しようとする意識を持つことが重要だと思います。この点、学校長のリーダーシップが問われると感じました。
- ・南部高校橋本先生の発表時に、島田様がお話頂いた「組織を変える3人」は強く共感を覚えました。こうした研修への参加等には代表1人ではなく複数で参加しやすいようにできるとより有用な機会となるかと思います。より一層の推進に向けて引き続き、条件整備頂きますようお願い申し上げます。ご準備等ありがとうございました。
- ・今後自校においての取組に非常に参考になりました。今後もこのような研修会を増やしてほしいです。
- ・コミュニティ・スクールを形骸化させず、効果的に活用することが学校の活性化につながります。他校の事例も参考にしながら取組を進めていきたいと思えます。
- ・自身の学校でも内情をよく知っている方との熟議はもちろんであるが、関係的

に距離のある外部の方との熟議も深めていく必要があると感じた。

- ・ 今後も、他校の取組事例を多く紹介していただきたいと考えます。
- ・ 本校も、企業連携、地域連携を目指して、学校運営協議会と情報を共有し取り組んでいきます。
- ・ コミュニティ・スクールの事例を多く知り、本校でできることを実践していきたいです。スピーディーに実践することが求められていると思います。
- ・ 少しずつ前に進んでいきたいと思っています。
- ・ 今回の研修を録画しているのであれば教員対象に広く視聴できる機会をつくってはどうか。
- ・ まずは動くことが大切だと痛感しました。学校や地域の実情に合う取組を進めていきたいです。
- ・ 学校運営協議会を柱に開かれた教育課程の推進を図っていきたいと思いました。